

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 13 日

事業所名 なないろHome

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	指導室を大きくし、子どもたちが伸び伸びと過ごせるスペースを確保しました。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	人数を配置していますのでいつでも見学・相談にお越し下さい。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	クールダウンが必要な時は、普段使わない相談室や職員室を活用することで対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	療育終了後にアルコール消毒・換気を行っています。子どもたちが見通しを持って活動に参加出来るように環境設定を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日の申し送りで活動内容の振り返りや情報共有を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	出来る出来ないはありますが保護者の方の意見を取り入れて業務開存に繋げていきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ブログ・事業所の相談室に記載していますのでいつでもご覧ください。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	なないろグループ法人内で徹底して行っております。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的になないろグループ内で研修を行う場を設けております。年間スケジュールにも組まれています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	保護者の方と連絡帳・送迎時・モニタリング時に話し合い、子ども一人ひとりに合わせた支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		今後も進めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	子ども一人ひとりに合わせた療育・活動を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎日の申し送りや会議などで意見の言いやすい環境作りを心掛けています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎月のSST(グループワーク)の内容を変えており、ステップアップ出来るように毎週内容を変更しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	支援計画作成後にモニタリングを行い、保護者の方に確認を頂いています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	療育前に申し送りを行い、職員全員に情報共有を行っております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	記録などで確認しながら報告し合い、問題点などがあれば早急に解決出来るように徹底しております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	子ども一人ひとりに合わせた療育を行えるように療育前後に確認し合える場を設けています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	保護者の方と話し合い、一緒に療育の設定を行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	サービス管理責任者が参加するようにしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		今のところ必要な利用者が居ない為、対応していませんが1度ご相談ください。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		今のところ必要な利用者が居ない為、対応していませんが1度ご相談ください。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		利用者全員が出来る訳ではないので共有できる人数を増やしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		利用者全員が出来る訳ではない為、改善していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	積極的に研修に参加し、相互理解に深めるようにしていきます。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%		時間の都合上出来ませんが今後改善していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		市が開催して下さっているものに積極的に参加するようにしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時・連絡帳などを活用し、日々の様子をお伝えしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	ご家庭でも出来る支援方法を具体的に提案するようにしています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時、またはご質問等がある場合は、個別で説明させて頂いております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	支援計画作成後に保護者の方に確認させて頂いております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	要望がありましたら、日程を決めて面談を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		コロナ禍の影響もあり開催出来ていませんが要望も多い為、状況を見て開催させて頂きます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	連絡帳・LINE・電話などで問題を先延ばししないように迅速に対応しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	活動内容をブログ等に定期的に挙げています。	まだまだSNSを周知されていない方がいるのでSNSに挙げた際は、保護者の方に連絡して周知してもらえるように改善していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	本児に合わせたタイムスケジュール表や絵カードなどを活用し、視覚支援を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍の影響や、時間の都合上出来ていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	避難訓練を定期的実施しております。また内容が被らないように時期に合わせて内容を変更しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年間スケジュールに日程を決めて避難訓練を実施しています。	まだまだ保護者の方に周知して頂けていないのでLINEなどで連絡して改善していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時や送迎時、モニタリング等でその時の対処方法を保護者の方に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		医師からの指示書を元に対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット用のファイルを作成し、申し送りの際に情報共有を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	なないろグループ内で研修を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	契約時にご説明させて頂いています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。